

平成 18 年 8 月 4 日 午後 7 時より

於：ながさわ保育園ホール

花火事故説明会

- ・ 土曜日の夏祭りには色々ご協力ありがとうございました。おかげさまで、無事に・・・といけばよかったのですが、
- ・ 残念ながら、最終プログラムの「花火上げ」の際に事故が起きました。内容は後で申し上げますが、これは当園の安全管理に全面的に落ち度があった結果で、火傷を負った小 3 の女の子はじめご家族の皆さん、それから夏祭りに参加された皆さんに、まず心からお詫び申し上げます。本当に申し訳ございませんでした。
- ・ 順番に事故の内容、経過等、申し上げます。

[事故の内容]

- ・ 当園 O B の小 3 の女の子の肩よりすこし下に連発花火の 2 発目があたり大きなやけどをした。火傷の程度は 2 度

[経過]

- ・ 花火のプログラムが始まった直後の連発花火で 1 発目が出た後、砂で固定した筒が倒れ 2 発目が横に飛びそれがあたった。
- ・ 対面にいた主任が駆けつけ初度の対応をした。
- ・ 1 職員が患部をきゅうりでシップした。(職員が小さい頃火傷をし、隣のおばさんがきゅうりで応急手当をしてくれ、医師も応急処置としてよかった評価していたのを覚えていた)
- ・ 園児のお母さんと小 3 の女の子のおばあちゃんが病院に連れて行ってくれた。
- ・ 園側から園児のお母さんに連絡を取り、治療先が分かったため、四日市の病院に園長、副園長、実行委員長が行った。
- ・ そこで小 3 の女の子のお母さんに会い、謝罪した。
- ・ 日曜日に実行委員長が小 3 の女の子宅に様子をお伺いするため電話をした。
- ・ それから月曜日 2 時過ぎに小 3 の女の子宅を訪ねる、おばあさんとお会いする。
- ・ ご不在でなかなかお会いできなかったが、3 日の木曜日お家に伺い、お父さんに謝罪した。

[反省点]

- ・ 安全対策のずさん 砂で固定、客席を完全にセパレートしなかった、客席と対面の畑に向かって打ち上げなど
- ・ すぐに病院へ連れて行かなかった。救急車を呼ばなかった
- ・ 即、花火を中止しなかった
- ・ 職員の対応が的確、迅速でなかった

今後二度とこういう事故のないよう、職員全体で安全管理を徹底する。